

平成 28 年度京都林業のつどい 開催要領

- 趣旨：平成 27 年に策定した成長型林業構想の素材生産量拡大（10 万 m³ 増産）の実現のため、川上側から見た全国における先進事例や実践を取り上げ、森林所有者、林業事業体等が一堂に会して、これからの京都の林業に何が必要かを探る。
- 日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）13:00～16:50
- 場所：京丹波町和知ふれあいセンター（船井郡京丹波町本庄花ノ木 1-4 電話：0771-84-2081）
- 主催：京都府
- 共催：京都府森林組合連合会、京都府林業士会、京都府林業研究グループ連絡協議会、京都府林業改良普及協会
- 参集範囲：約 150 名（府内の森林所有者、森林組合、林業事業体、指導林家、京都府林業士会、京都府林業研究グループ連絡協議会、京都大阪森林管理事務所、市町村、京都府立林業大学校生等）
- テーマ：これから、京都の林業に何が必要か

8 主な内容

次 第

- 13:00～13:10 開会
13:10～14:00 基調講演「これから、京都の林業に何が必要か —全国の取組事例を紹介しながら—」
14:00～15:30 事例報告テーマ：「皆伐・再造林をどのように進めるか」
15:30～15:40 休 憩
15:40～16:10 関連団体からの取組報告
16:10～16:35 事例報告のまとめ
16:35～16:45 講評
16:45～16:50 閉会

- (1) 基調講演 「これから、京都の林業に何が必要か —全国の取組事例を紹介しながら—」
講師：NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワーク理事長

木材アドバイザー えんどう くさお 遠藤 日雄氏

(2) 事例報告

○テーマ：「皆伐・再造林をどのように進めるか」

- ①国有林における低コスト化の取組（一貫作業、コンテナ苗）：京都大阪森林管理事務所長 かつら たもつ 勝占 保氏
- ②コンテナ苗の生産状況：兵庫県林業種苗生産組合 うえのファーム くさかべ きみたか 日下部 公孝氏
- ③コンテナ苗を活用した伐採・造林一貫作業の検討：長野県林業総合センター主任研究員 おおや しんじろう 大矢 信次郎氏
- ④栃木県における皆伐・再造林の推進について：栃木県環境森林部林業振興課技師 やべ のりひろ 矢部 礼拓氏
- ⑤皆伐の搬出における新技術：和歌山県 いさこ（株）井裕林産代表取締役社長 いさこ けいじ 井裕 啓次氏

○ 質疑応答

(3) 関連団体からの取組報告(京都府林業士会、京都府林業研究グループ連絡協議会)

(4) まとめ・講評

- 9 併催行事：団体総会（京都府林業士会・京都府林業研究グループ連絡協議会青年部）午前開催
パネル展示(京都大阪森林管理事務所、京丹波町、京都府立大学、京都府立林業大学
校、京都府林業改良普及協会、京都府森林技術センター等)

○パネル展示の主な内容

出展予定先	内 容
京都大阪森林管理事務所	国有林の取組、首用くくり罫の展示
京都府林業改良普及協会	普及双書、パンフ
京都府森林技術センター 木材利用推進・試験管理担当	マツタケ栽培研究、ウルシ試験、コンテナ苗試験
普及指導担当	低コスト高生産システム技術養成事業研修、クリ新規担い手育成
他に京丹波町、京都府立大学、京都府立林業大学校等が出展予定	

○基調講演講師の略歴

遠藤 日雄（えんどう くさお）氏

木材アドバイザー。前鹿児島大学農学部教授、農学博士（九州大学）。専門は森林政策学
全国各地の林業生産・木材流通等の現場を訪問し、関係者との直接対談をまとめた「遠藤日雄のルポ&
対論」が大変好評（『林政ニュース』（日本林業調査会（J-FIC）発行）で2006年3月22日号から掲載中）。
林業生産、木材流通・加工の動向についての第一人者。NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワー
ク理事長、（一財）林業経済研究所 フェロー研究員、京都府成長型林業構想の検討委員会座長